

市川市立図書館のメールマガジンをお送りいたします。

「メールでのサービス」で配信をご希望された方へお送りしています。

□ ■ □ -----
■ □ ■ 市川市立図書館メールマガジン 第 136 号 2017.11.1
□ ■ □ -----

11月3日（金・祝）から開催される文学ミュージアム（中央図書館2階）の企画展「永井荷風展：荷風の見つめた女性たち」にあわせて、中央図書館入り口ガラスケースで永井荷風関連の資料の展示を行っています。どうぞご覧ください。

■ ■ 図書館からのお知らせ □ -----

◆ 「第42回いちかわ市民まつり」のご案内

第42回いちかわ市民まつりが、11月3日（金・祝）に開催されます！市民のみなさんによる楽しいステージや、趣向を凝らした模擬店・PRブースなどが多数並びます。

今年は、図書館からも初めてPRブースを出展しますので、ぜひお立ち寄りください。

<日時> 11月3日（金・祝）10時～16時（荒天中止）

<会場> 大洲防災公園（市川市大洲1-18）

「第42回いちかわ市民まつり」のご案内はこちら

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/eco04/1111000061.html>

■ ■ テーマ展示 □ -----

◆ 「テレビを読む」（中央図書館／11～12月）

私たちにとって身近なメディアのひとつであるテレビ。

今回の展示では、テレビの歩んできた歴史を振り返る懐かしい番組、番組制作の舞台裏等、テレビについて書かれた様々な本を集めました。

いつもは“観て、聞いて”楽しむテレビを、今回は“読んで”楽しんでみませんか。

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/info/1215.html>

○展示の本からいくつかをご紹介します。

◇『テレビの企画書：新番組はどうやって生まれるか?』栗原美和子／著
(ポプラ社 2015)

テレビ局のバラエティ制作部のアシスタントディレクターを経て、ドラマプロデューサーになった著者が、テレビ番組づくりの舞台裏を描き出しています。

制作現場の雰囲気、視聴率やクレジットタイトルの意義など、制作に携わった著者ならではの話も多く、番組制作の苦労や喜びが伝わってくる1冊です。

◇『TVコマーシャルと洋楽コマソン 40年史：1970～2009年』かまち潤／著 (清流出版 2010)

テレビを語る上で欠かせないものの一つにコマーシャルソングがありますが、この本では、コマーシャルソングの中でも、いわゆる洋楽と呼ばれる楽曲とそのエピソードを紹介しています。

レコードコレクターとして知られる著者の持つ豊富な知識に裏打ちされた硬質な文章は、他の本とは一線を画しています。

128ページに及ぶ巻末資料の迫力は、まさにコレクターとしての著者の面目躍如といえます。

◇『トットチャンネル』黒柳徹子／著 (新潮社 1984)

NHK 専属俳優として採用された“トットちゃん”こと黒柳徹子さんの、テレビ業界での奮闘ぶりを綴ったエッセイです。

入社試験の場所を間違えたり、マイクで録音した自分の声を聞いて「こんなヘンな声じゃない」と泣き出したり……。どんな現場でも、素直に自分らしく振舞うトットちゃんは、周りの人々に愛されながら個性派女優としての道を切り開いていきます。

舞台はテレビ創成期、文中に登場する数々の大物俳優の飾らない素顔も垣間見える作品です。

.....

◇メールマガジンの登録・解除はこちら

<https://opac.city.ichikawa.chiba.jp/winj/opac/top.do>

◇このメールは自動配信されています。このアドレスに返信いただいても内容の確認およびご返答ができません。ご了承ください。

市川市中央図書館

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 047-320-3346
